

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
荒尾周辺地区

平成27年10月

愛知県東海市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合	%	49.6	49.6	48.5	確定 見込み ●	△	あり なし ●	41.7	H27年5月	△	実施年度の異なるアンケート調査であるため差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	評価値から値を下げ、目標値にも達しなかったが、平州と大仏を訪ねる花の道の整備などにより、地域の歴史や独自性が感じられる空間の創出につながった。
指標2	まちの公園・街路樹などに満足している市民の割合	%	57.6	65.0	67.9	確定 見込み ●	○	あり なし ●	64.0	H27年5月	△	実施年度の異なるアンケート調査であるため差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値を上回った評価値からは値が減少したが、地区内の公園整備の進展に合わせ、目標値に近い数値を維持している。
指標3	市内を車で移動するときスムーズに出て来ていると思っている人の割合	%	64.9	75.4	73.9	確定 見込み ●	△	あり ● なし ●	71.8	H27年5月	△	実施年度の異なるアンケート調査であるため差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	評価値から値を下げ、目標値にも達しなかったが、道路を整備することにより、地区内外のアクセス向上や歩行者の安全性の確保など、従前に比べ、地区内の道路交通環境の改善につながった。
指標4	子供の教育について学校・家庭・地域の連携が十分だと思う人の割合	%	24.5	40.0	31.7	確定 見込み ●	△	あり なし ●	32.8	H27年5月	△	実施年度の異なるアンケート調査であるため差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値には達しなかったが、郷土の歴史を学ぶことのできる場の整備が進んだことにより、増加傾向は維持している。
指標5	地区内の公園面積	ha	31.1	31.4	32.3	確定 見込み ●	○	あり なし ●	32.6	H26年5月	○	聚楽園公園のH25年度末時点の供用面積が予定と実績で異なったため、差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	都市再生整備事業等による公園整備が順調に進んだことにより、目標値が達成され、市民の満足度の向上につながった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	アダプトプログラム登録団体数	団体	7	/	9	確定 見込み ●	/	/	9	H26年5月	/	- □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	公園緑地などの整備が進み、自然とふれあえる場が増えたり、市民の環境意識の向上に伴い、登録団体数の維持につながった。
その他の数値指標2	地域生活支援施設利用定員	人	4	/	14	確定 見込み ●	/	/	14	H26年5月	/	- □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地域生活支援施設の利用定員が維持されたことにより、多世代住民の交流の場が確保された。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	「点の緑」と「線の緑」の活用促進 (地域住民や事業者等と連携したまちの緑を守り育て る活動の推進)	・市民や事業者が自主的に行うアダプトプログラム事業を引き 続き実施した。	・登録団体数が維持されるとともに、登録人員は 微増した(9団体105人→9団体111人)。	・アダプト登録団体など市民、事業者との連携強化や新規参加 を促す施策の推進
	地域の歴史や独自性の維持向上 (平洲記念館、歴史の道、花の道等を活用した、平洲 の歴史を継承・普及する取組みの推進)	・東海市平洲会の普及PR ・平洲記念館での歴史講座・イベント実施 ・歴史の道、花の道等を活用したまち歩きイベント実施 ・岩屋口史跡公園における小学生向けの歴史講座の開催	・平洲会の普及PRにより、会員数が増加した。 ・平洲記念館のリニューアルに伴い、館内の雰囲気 が明るくなったことによって、小学生向けの歴史 講座などでは活発な意見が出るようになった。 ・岩屋口史跡公園の歴史講座も毎年定期的に行 われるようになった。	・ウォーキングイベントなど、イベントの継続と普及PRの充実
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	交流の場の利用促進 (整備された公園、交流施設等を活用した市民の交 流に向けた取り組みの推進)	・平洲記念館での歴史講座・イベント実施	・平洲記念館のリニューアルに伴い、来館者の滞 在時間が延びた。	・平洲記念館などの来館者数を増加させるための魅力あるイベ ントの開催
	土地区画整理事業地内の公園整備	・荒尾第二号公園の整備 ・渡内3号公園の整備	・ワークショップによるプランづくりなど、住民参加 型の公園づくりが行われた。	・近隣住民参加型の維持管理体制の構築

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項